

令和2年度学校評価実施計画

学校名	大分県立別府鶴見丘高等学校
-----	---------------

前年度評価結果の概要	<p>○今年度の3年生の進路実績は、国公立大学の合格者126名(既卒者含む)うち難関大10名であり、特に大学入試センター試験において文系の大分県トップや英語(リスニング含む)250点満点の生徒を出すなど、一定の成果が見られた。次年度は、全ての生徒の家庭学習時間の増加を目指し、学校全体で取り組んでいく。そのために、校時を見直し、放課後の部活動の時間や月曜の部活動休業日などの条件整備を徹底していく。</p> <p>○不登校生徒を減らす取組は1年生を中心として少しずつ成果が見られるようになった。「あったかハート1・2・3」や「7・5・3指導」を徹底し、早期の対応を組織的に取り組む。</p> <p>○APUとの連携協定を軸にし、外部人材を効果的に活用し、生徒の主体性や探究力の向上を目指したい。</p> <p>○地域を担う普通科進学校としてPTAや同窓会との連携を密にするとともに地域に積極的に情報発信を行う。また、学校HPやメディアを活用しながら広報に努めていきたい。</p>
------------	---

学校教育目標	中期目標	重点目標
「学力と人間性を兼ね備えたタフな鶴高生の育成」	<p>○高い好奇心・探究心、主体的な学びを育成することで、生徒の第1希望の難関大学等への進路実現を図る。</p> <p>○生徒会活動や部活動、人権教育・キャリア教育等の推進により、学びへ向かう意欲・自立心・豊かな人間性を育む。</p> <p>○特色ある教育活動の推進及び積極的な情報発信により、学びたい、学ばせたい魅力ある学校づくりを推進する。</p>	<p>○主体性を向上させる「文武両道」の推進</p> <p>○意欲を喚起する多様な学び(活動)の推進</p> <p>○社会性向上のための組織力の向上</p>

PL: プロジェクトリーダー、SL: サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
○主体性を向上させる「文武両道」の推進	<p>○生徒実態アンケート 思考力・判断力・表現力が身につく授業 95% ○平日家庭学習時間: 1・2年生2時間以上 3年生4時間以上 ○模試学習到達ゾーン 1年・2年: B3以上90%、S3以上15名 3年: B3以上80%、S3以上15名 ○部活動入部率80%、部活動満足度85% ○生徒会役員立候補者前期20名、後期25名</p>	○「考えることが楽しくなる」授業の推進	<p>○「鶴高スタンダード」を確立するため、アンケート調査を年2回実施 生徒の家庭学習につながるよう「授業の振り返り」を研究する</p> <p>○研修(教科会議)を年2回実施</p> <p>○互見授業旬間を1学期と2学期に設定(他教科の互見含む)</p>	PL: 教務主任 SL: 主幹教諭、指導教諭、教科主任
		○主体性を向上させる部活動・生徒会活動等	<p>○生徒会を主体とした各種行事の発展のため、事前事後2回会議実施</p> <p>○生徒の主体性を育む部活動の推進のため、キャプテン集會年2回実施</p> <p>○鶴高生徒会SDGs(毎月、全校生徒に向けて、活動を呼びかけ)</p>	PL: 特別活動主任 SL: 学年主任
		○進路実現のための進路指導の充実	<p>○内発的動機付けを図るHRA等の充実 各学期に個人面談を実施</p> <p>○進路希望別セミナー、個別指導の強化 各学年、年間2回の講演会を実施</p> <p>○3年生の受験指導(面接・小論文)は、全職員で組織的に指導 推薦入試に向けた対策強化</p>	PL: 進路指導主任 SL: 特別活動主任、学年主任
○意欲を喚起する多様な学び(活動)の推進	<p>○学校生活満足度95% ○留学フェア参加者15名 ○科学の甲子園参加者20名 ○授業アンケート「主体的に学習している」95% ○外部と連携した「総合的な学習(探究)の時間」の行事 年間12回 ・SDGs講演会、グローバル講演会、APUアカデミックラボ、APU研修、12分野特別講演会、グローバル・ウエールズ研修、サイエンス講演会、未来創世塾、関西方面サイエンス研修など</p>	○「総合的な探究の時間」の充実	<p>○3年間の計画的な指導</p> <p>○「単元配列表」による授業とのリンク</p> <p>○「思考ツール」等活用による授業の深化</p> <p>○APUとの連携 留学生との交流活動や大学教員による講義</p> <p>○大分大学や関係機関との連携推進 本校OB学生の活用(先輩を招いての交流)</p> <p>○深い学びに繋がる読書活動の推進</p>	PL: 主幹教諭 SL: 進路指導主任、学年主任
		○リーダー育成のためのセミナーへの参加	<p>○「サイエンスリーダー」や「グローバルリーダー」の育成</p> <p>○県主催のイベントへの参加を促す</p> <p>○深い学びを推進する土曜講座の改革 クラスの枠を超えて、習熟や希望による講座を展開する</p>	PL: 主幹教諭 SL: 進路指導主任、学年主任
○社会性向上のための組織力の向上	<p>○自転車事故 毎学期ゼロ</p> <p>○自転車通学生ヘルメット着用率100%</p> <p>○不登校生徒を出さないための組織的対応 「7・5・3指導」(本校独自の組織対応)の構築</p> <p>○「人権HRA」各学期1回以上、「人権講演会」年1回</p> <p>○PTA出席率85%、学年PTA出席率75%以上</p> <p>○学校HP更新頻度25回(月当たり)</p> <p>○39メール登録率: 生徒・保護者95%、職員100%</p>	○人間力の育成	<p>○個に応じた生徒指導の強化 スクールサインの登録、いじめアンケートの活用</p> <p>○社会規範の遵守等、学校・家庭が一体となった指導の強化 あいさつ運動(各学期1回)、自転車通学生集會(各学期1回以上)</p>	PL: 生徒指導主任 SL: 学年主任
		○充実した学校生活を過ごさせる取組	<p>○安全・安心な教育環境の整備 校内修繕箇所の確認(不具合はすぐに事務室に連絡)</p> <p>○不登校根絶を目指す組織的対応の強化 「あったかハート123」および「753指導」の徹底 欠席5日: 支援シート作成 欠席7日教育相談部・管理職と情報共有</p> <p>○人権教育の推進 各学期の人権HRの実施と年1回の人権講演会</p>	PL: 保健・教育相談・特別支援教育主任 SL: 人権教育主任、生徒指導主任
		○地域との連携強化	<p>○PTA・同窓会との連携強化 PTA広報部や研修部との連携、鶴嶺会合への職員参加</p> <p>○積極的な情報発信 学校HPの毎日更新と39メールの活用(年度当初に登録徹底)</p>	PL: 総務主任 SL: 情報・図書主任
※「働き方改革の推進」に関する重点目標 ○職員のワークライフバランスの充実	<p>○年間年休取得12日以上(1人当たり)(昨年10.8日)</p> <p>○夏季休暇(5日)取得率95%以上</p> <p>○一月当たりの残業時間45時間以上ゼロ人</p> <p>○1日当たり平均残業時間1.5時間以下</p> <p>○学校施設時刻の見える化(学校日誌の活用)</p>	○職員がいきいきと働くことのできる職場環境の構築	<p>○年休等取得しやすい環境の整備 ATの午後の時間に会議を設定しない 夏季休暇取得状況を見る化して、取得促進につなげる</p> <p>○時間外労働の低減強化 学校(職員室)施設時刻を、Arms学校日誌の活用で見える化する</p>	PL: 主幹教諭 SL: 教務主任、特別活動主任